

## 臨床研究「間質性肺炎における DKK3 タンパクの解析」について

筑波大学附属病院病理診断科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究の目的

本研究では IP を対象として BALF 上清と対応する血清試料中に含まれる DKK3 タンパク濃度を測定し、IP 病態との関連を検証する。IP 病態の情報として分類（発病経過、原因、病変部の形態など）、臨床検査数値（CRP 値など）、および血管内皮細胞の性状マーカー（VE-cadherin など）との関連を解析し、DKK3 タンパクが IP の分類、病態判断のマーカーとして有用であるかを明らかにする。また BALF 上清での DKK3 タンパク濃度測定値にどのような補正を用いれば血清 DKK3 タンパク濃度に対応できるようになるかを明らかにする。

### ② 研究対象者

2019 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までに当院で間質性肺炎診断を受けた患者さん

### ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2021 年 3 月 31 日まで

### ④ 研究の方法

1. 試料として使用する検体は、BALF および組織検体はつくばヒト組織バイオバンクに、対応する血清試料はつくば i-Laboratory LLP にそれぞれ保存されているものを利用する。
2. 試料選定は IP との診断が確定したものをを用いる。コントロールとしてはサルコイドーシス疑いで検査し、陰性であった試料とする。
3. BALF、血清試料中の DKK3 タンパク濃度の測定は Human Dkk-3 DuoSet ELISA Development System (R&D Systems) を用いる。
4. 血管内皮細胞の特徴を示す細胞間接着因子である VE-cadherin (CD144) や activated leukocyte cell adhesion molecule (ALCAM/CD166) などのマーカー発現は、組織免疫染色を用いる。
5. 臨床検査情報は診療記録から得る。

### ⑤ 試料・情報の項目

気管支肺胞洗浄液、血液、検査データ、診療記録等

### ⑥ 試料・情報の第三者への提供について

該当なし

### ⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

研究責任者名：加野 准子、所属：筑波大学医学医療系診断病理、役職：講師

### ⑧ 研究機関名および研究責任者

研究機関名：筑波大学医学医療系診断病理、研究責任者：加野 准子

### ⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：病理診断科・加野准子

メールにて受け付けます。

e-mail アドレス：junkano@md.tsukuba.ac.jp

（対応可能時間：平日 9～17 時）